

La Mer et le Ciel en Bretagne
Collection du musée des beaux-arts de Quimper



リュシアン・レヴィ＝デュルメル「ペンマルクの聖母」(1896年)

入場料＝一般900円(720円)／高大生500円(400円)／小中生300円(240円)
*()内は前売りおよび団体20名様以上の料金
* 65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
* 会期中の土曜日は小・中・高生入場無料

休館日＝月曜日(ただし、4月29日(月・祝)・5月6日(月・祝)は開館、4月30日(火)・5月7日(火)は休館)
開館時間＝火～金曜日 午前9時30分～午後7時
土・日曜日・祝日 午前9時30分～午後5時
入室はいずれも閉館30分前まで 初日は午前10時開展式

高松市美術館

Takamatsu City Museum of Art
〒760-0027香川県高松市紺屋町10-4 Tel 087-823-1711

主催/高松市美術館 共催/読売新聞大阪本社 西日本放送 美術館連絡協議会
後援/フランス大使館 協賛/花王株式会社 協力/日本航空

フランス・カンペール美術館所蔵
ブルターニュの海と空展

2002. 4. 26 (FRI)～6. 2 (SUN)



アルフレッド・ギユ「コンカルの鱈加工場で働く娘たち」(1896年頃)



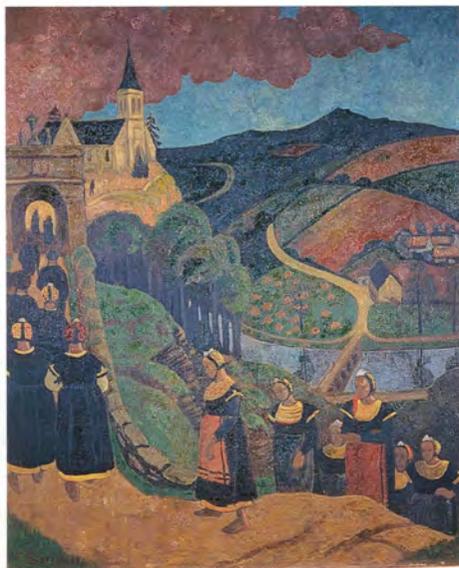
モーリス・ドニ「ル・フォルゴエトのバルドン祭」(1930年)



ジャック・ギョ「ギミヨーの教会とキリスト受難群像」(1873年頃)



アルフレッド・ギユ「さらば!」(1892年)



ポール・セリュジエ「ノートル＝ダム＝デ＝ポルトのバルドン祭」(1894年)

La Mer et le Ciel en Bretagne

Collection du musée des beaux-arts de Quimper

フランス西部のブルターニュ半島先端に位置するカンペール市は、13～15世紀の聖堂やその周辺の古い街なみ、宗教的祭礼のバルドン祭、陶器の「カンペール焼き」などで知られ、近年観光地としても多目に脚光を浴びています。

1872年に開館したカンペール美術館には、ルネサンス、ロココの巨匠の作品もありますが、とりわけ注目されるのは、ブルターニュ地方の自然、信仰、風俗などを描いた近代の作品群です。時には厳しく人間に襲いかかる豊かな自然、人々の素朴でありながらも深い信仰心、伝統的で地方色豊かな生活様式など、ブルターニュの民衆の生きる喜びと悲しみを、手堅いリアリズムで平明に描いたその作品群は、見る者に深い感銘を与えます。

本展では、カンペール美術館所蔵品の中から、ブルターニュ地方で生み出された独自の写実的な絵画約60点をご紹介します。普段日本で目にする機会の少ない、ブルターニュ地方の素朴で真摯なリアリズムと出会えるまたとない機会です。ぜひご期待ください。



交通のご案内

JR 四国一 JR高松駅下車、南へ徒歩15分
 琴平電鉄一瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分
 バス路線一組屋町バス停下車、徒歩3分
 駐車場一美術館地下に公営駐車場
 (有料、乗用車144台収容)

ギャラリートーク

当館学芸員によるギャラリートーク

4月27日(土)・5月11日(土) 午後2時～
2階展示室にて

美術館ボランティア「civi(シヴィ)」によるギャラリートーク

会期中の日曜日・祝日
 [4月28日(日)・29日(月・祝)・5月3日(金・祝)・4日(土・祝)・5日(日)・
 6日(月・祝)・12日(日)・19日(日)・26日(日)・6月2日(日)]
 午前11時～、午後2時～1日2回 2階展示室にて

常設展のお知らせ

第1期常設展 4月6日(土)～6月9日(日)

※特別展のチケットでご覧いただけます。

次回催し物のお知らせ

ポップの時代展

6月14日(金)～6月30日(日)



テオフィル・デイロール「鱈釣り」(1881年)



アンリ・バルヌワ「カンペールの市場」(1928年以前)



アンリ・ロワイエ「奉獻物」(1898年頃)